

リーディングDXスクール事業【実践事例】

横浜市立獅子ヶ谷小学校

【取組内容②】「インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施」



6 学年 総合的な学習の時間

授業

役に立つ、夢をかなえるテクノロジーを専門家に学ぶ。
ドローン・プログラミングのオンライン授業

めあて：自分の意図通りにドローンを飛ばすプログラムを考えよう

【外部専門家（※企業）によるオンライン授業】1日目



外部講師がオンラインで教室の子どもたちとつながりました。子どもたちはドローンの仕組みやプログラミングについて、動画やクイズなどで学ぶことができました。

※情報システム関連企業



担任の先生のコメント

今回はドローンが正しく飛ぶように、一人ひとりがプログラミングを体験しました。子どもたちには、決められたルートを飛ばすために試行錯誤するなかで、論理的思考力が育まれると感じました。また、この体験が「楽しい」でとどまることなく、「どう活かしていくか」ということを考えていけるきっかけになるとよいと思いました。

《授業の流れ》2日目

1 めあての確認

本時のめあてや、ドローン用のアプリ※※の使い方を確認する。

2 プログラミングをしよう

端末にインストールされたアプリで、ドローンを飛ばすプログラミングをする。

3 ドローンを飛ばしてみる

企業のスタッフのサポートを得ながら、ドローンが自分の意図通りに飛ぶかどうか試行錯誤してみる。

4 振り返り

プログラミングの体験を振り返るとともに、プログラマーやエンジニアといった仕事の魅力ややすばらしさにもふれながら、自分の将来について考える学習につなげた。



※※ドローン用のプログラミングアプリを活用しています。